



お茶べいの会

認定こども園 こどものもり

2013.7.11.12



4~5月の期題 「**たのしいこどものもり**」

6~8月の期題 「**たのしい仲間**」

4月からの生活を体験して、すてきに育った **子どもの姿**...

○入園当初は、不安いっぱいでお母さまから離れられずに泣いて登園していた新入園児さんも、お兄さんお姉さんたちの世話のおかげで、「こどものもり」での生活に少しずつ慣れてきました。入園・進級して3ヶ月が経ち、

※自分だけの好きな遊びから・・・少しずつ → ①友だちがいること

②自分が困った時に優しく声をかけてくれる先生がいること

③みんなで一緒に行動すると楽しいこと

④小さな動物やきれいなお花に興味を持ち、そのお世話が大切であること etc

に目を向けるようになってきています。



○新しい園生活や友だちとの交わりから、他の子や先生の姿を見て・真似をしながら・少しずつ覚えたり・身につけてきている姿が見られるようになっていきます。

○特に年長児は年下の子の世話を通して、年長児としての自覚が芽生えてきて、優しく教えてあげることが・自信につながり、その体験がコーナーあそびやいろいろな活動への意欲につながってきています。

○家庭とは異なる園という小さな社会生活を通し、どの子も「気持ちを受け止めてくれる先生や仲間」がいたり、「自分の気持ちを認めてもらったり、褒めてもらえること」での勇気や自信がついてきて、少しずつ自立への気持ちが芽生えてきています。

さくら(年少)組

※みんなで一緒に楽しいことをすることによって、「意欲や思いやりやが芽生えてきている年齢」の3才児

○3才の育ちは、「いろいろなことに興味を持ち、知りたがりやで自分でやってみようとする意欲が芽生えて」きています。

○大好きな家族から離れて不安だった気持ちから→先生や世話をしてくれる年中・年長児さんとの出会い → 少しずつ園生活に慣れ → 朝の身支度やランチタイムに食事をとりに行く流れや片付けることや帰りの準備など → 自分でやろうとする姿がみられてきました。

○また、コーナーでは → 砂遊びや製作・ダンス・ごっこ遊びなど → 自分でやってみたい遊びを見つけ → お兄さんやお姉さんに教えてもらったり → 真似たりしながら → 楽しく遊んでいます。

○7月に入り、大きい組さんの行事等から年少児さんだけの集まりが始まりました。園生活に慣れてきたこともあり笑顔で参加しています。みんなでダンスをしたり、おやつを食べたり、京けち染をしたり、年少児さんだけでプールに入ったりと楽しい集まりをしていきたいと思います。何でもやりたがりの年少児さんですので、「やりたい!!」という気持ちを大切に、楽しい集まりや経験を通して、社会生活の第一歩を応援していきたいと思っています。